

4 「見方・考え方」を働かせるための教師の意図的な働き掛けを考えるときに、どのようなことを大切にすればよいでしょうか？

子供の実態、指導の内容に応じた育てたい資質・能力を設定し、授業を単元や題材などのまとまりで構想することが大切です。

単元構想シート ※一部抜粋

知的障害特別支援学校 職業・家庭科（家庭分野）
単元名「簡単な調理をしよう」

単元で育てたい資質・能力

- 単元の目標
(知識及び技能)
○レシピをもとに身近な食材や調理器具を使って、簡単な調理をすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
○調理の材料や用具、手順を考えて、作り方を工夫できる。
(学びに向かう力、人間性等)
○家庭でもやってみようという気持ちをもち、実生活に生かそうとする。

単元構想シートは
・「児童生徒の実態」
・「単元で育てたい資質・能力」
・「単元計画」

からなります。

家庭分野における「見方・考え方」
・健康・快適・安全
・生活文化の継承・創造

調理を子供の家庭生活や
将来の生活と結び付けて
考えさせたい。

単元の「見方・考え方」
・おいしく食べるための食の安全や衛生
(健康・快適・安全)
・現在の家庭の食生活や今後の自立した食生活
(生活文化の継承・創造)

学習活動

働き掛け ○単元構成の工夫

- ①家庭でも作ってみたいと感じるメニューにする。
- ②経験したことを次の調理に活かせるように、題材ごとに調理の手順を少しずつ増やしていく。
- ③身支度や準備など基本的な内容の定着を図るために、準備から後片付けまでの流れにする。

○レシピの工夫

主体的に調理することができるようするために、生徒の実態に応じて数種類準備し、材料や調理の手順などが分かるようにする。

○振り返りシートの工夫

家庭生活との関連を深めるために、家庭で調理するときの材料や使用する器具を記入する欄を設ける。

子供が主体的に調理できる
ような分かりやすいレシピにしよう！

「家庭で調理するならどうする？」など、家庭生活と結び付けることができる
ような問い合わせやワークシートを準備しよう！

子供の実態や指導内容に応じた資質・能力を設定し、単元を構想することにより、「見方・考え方」を働かせるための教師の意図が明確になり、学習活動、教材や問い合わせを具体化しやすくなります。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 No. 3 ～見方・考え方を働かせるために～

1 (1) 「主体的・対話的で深い学び」と「見方・考え方」は、どのような関係にあるのでしょうか？

「深い学び」の鍵となるのが、「見方・考え方」です。

学習指導要領解説 総則編 には、次のような記述があります。

- ・・・特に、「深い学び」の視点に関して、各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」である。
・・・「見方・考え方」は、①新しい知識及び技能を既にもっている知識及び技能と結び付けながら社会の中で生きて働くものとして習得したり、②思考力、判断力、表現力等を豊かなものとしたり、③社会や世界にどのように関わるかの視座を形成したりするためには重要なものであり、習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて、より質の高い深い学びにつなげることが重要である。

小学校学習指導要領解説 総則編 平成29年7月(第3章-3)(抜粋)

各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることで、資質・能力の三つの柱につながる①②③の学びが実現します。

教師は、教材研究を行い、専門性を發揮することが求められます。「主体的・対話的」な学びだけを、目的化しないようにしたいものです。

1 (2) 「見方・考え方」を働かせるとは、どのようなことを言うのでしょうか？

教師の意図的な働き掛けにより、子供が“どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくか”が明確になることです。

授業において、「何でもいいから言ってごらん」などと曖昧な言葉掛けをしてしまったばかりに、意図した「めあて」や的確な「まとめ」に行き着かなかったことはありませんか？

そうならないためにも、教師は、子供が働かせる「見方・考え方」を明確にし、教材や問い合わせ等、意図的な働き掛けを準備して授業に臨みます。

子供は、生活の中で様々な「見方・考え方」を無自覚的に働かせています。授業においても、教師の働き掛けに対して子供は、様々な「見方・考え方」を働かせています。

教師の働き掛けが曖昧な場合、子供が働かせる「見方・考え方」は、教師が各教科等で期待するものとは違うものになることがあります。

教師は、各教科等の特質を踏まえた上で、子供が働かせる「見方・考え方」を明確にし、意図的な働き掛けを行う必要があります。

教師の意図的な働き掛けとは、どのようなことをすればよいのでしょうか？

詳しくは2~3へ

小・中・高校、特別支援学校のそれぞれの実践事例を下記のWebページで紹介しています。

https://www.edu-c.news.ed.jp/?page_id=102



